

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	S.H	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	3年	派遣国	アメリカ合衆国
派遣大学	ウィーバー州立大学		
期間	2021年8月25日～2022年4月29日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	◎	冷蔵庫	◎
滞在費	約(8万(1ドル=130円で計算))円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(シャトル)で、約(10)分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	30000円	スーパーでの買い出し/昼食等
学用品購入費	3000円	ノート等
交通費	0円	交通機関無料/友達にライドを頼む
交際費	30000円	外食/お出かけ
その他	円	
合計	63000円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安はよいと思います。危ない場所だと感じたことはありませんが、暗い場所も多いので、夜の一人での歩きは注意をした方がいいかもしれません。

3. 医療について

(1) 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(8) ヶ月間	保険料	(93080) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	(私は加入できなかったですが、留学生加入必須の健康保険が指定されていました。)		
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 (オグデン)

オグデンはソルトレイクから北へ車で30分程度の場所にある町です。山と湖に囲まれた自然豊かな街だと思います。ハイキングのトレイルスポットがいくつもあるので、ぜひハイキングに一度は行ってみるといいと思います。また、25th ストリートが、ダウンタウンになっています。おしゃれなカフェやレストラン、雑貨屋さんが並ぶのでお勧めです。

大学近辺から、車で15分以内の場所にウォールマートやターゲット、ショッピングモール、またコストコがあるので便利です。また徒歩15分の場所に、smiths' というスーパーマーケットもあるので、食材の買い出しに困ることもないと思います。

交通関係としては、学生はキャンパスのオフィスにてUTA(公共交通機関)のカードを無料で申請することができ、そのカードがあればバスやフロントランナーなどの全ての公共交通機関を無料で利用できます。公共交通機関での移動で色々な所へ行けますが、乗り継ぎやルートなどの変更、時間の遅れでうまくいかないこともあるので、行きづらい場所は、車を持っている友人にライドを頼むといいと思います。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ウィーバー州立大学	所在地	3834Harrison Blvd, Ogden
最寄空港	Salt Lake City International Airport	空港からの距離	About 60 km
空港⇄大学	(車/公共交通機関(フロントランナー)) *移動手段		
学生数	29,744 (fall 2021)	留学生数	割合 1 %
学部	Accounting Athletic Training Business Administration Communication Computer Engineering Computer Science Criminal Justice Education Electrical Engineering English Health Administration Nursing Nursing Practice (Doctorate) Radiologic Sciences Respiratory Therapy Social Work Taxation *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Geography/Sociology *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	2 限 Geography 3 限 Botany	2 限 PE (ハタヨガ) 3 限 Sociology	2 限 Geography 3 限 Botany	2 限 PE (ハタヨガ) 3 限 Sociology	2 限 Geography 3 限 Botany
午後	1:00-2:00 日本語のチューター (マイナーで日本語を学んでいる学生の質問に答えるなど)	1:30-4:00 WSU Class		1:00-2:00 日本語のチューター	

② (1)月～(4)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	1 限 Sociology 2 限 Geography	3 限 Geography	1 限 Sociology 2 限 Geography	3 限 Geography	1 限 Sociology 2 限 Geography
午後			1:00-2:00 チューター		1:30- sking

3. 履修内容

科目（和訳）	環境科学の原理		
履修期間	Fall2021	単位数	3
授業内容／形態	現代科学の環境への影響について学びます。環境問題がどのように私たちの暮らしと相互関係にあるのか、コモンズと人口の関係をどのように捉えるのか、またそれらをどのような科学的方法で検証できるかを学びます。（レクチャー・約 50 人）		
YCU 振替予定	科目	特別講座（留学科目・共通教養 A）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目（和訳）	世界の人々と地域		
履修期間	Fall2021	単位数	3
授業内容／形態	文化的・経済的・政治的・環境的プロセスを通じて、世界の地域を見ていきます。世界の地域の多様性を認識するとともに、社会の発展に伴う、現在の世界が抱える問題の影響について特定し分析します。（レクチャー・約 20 人）		
YCU 振替予定	科目	International Cooperation in Urban Development	
	単位数	2	
	担当教員		

科目（和訳）	ハタヨガ		
履修期間	Fall 2021	単位数	1
授業内容／形態	ハタヨガのやり方を一から教えてくれます。 （体育・約 15 人）		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目（和訳）	社会問題		
履修期間	Fall2021	単位数	3
授業内容／形態	現代社会の主要な社会問題である、ジェンダー、人種、民族、富と貧困、政治、教育、医療、環境といった様々な問題について学びます。なぜ、社会問題を解決するのが難しいのか、社会学の観点から考えます。（レクチャー・15時間の奉仕活動・約20人）		
YCU 振替予定	科目	アメリカ社会論	
	単位数	2	
	担当教員	細谷 典子	

科目（和訳）	アメリカの大学経験		
履修期間	Fall2021	単位数	3
授業内容／形態	インターナショナルの交換留学生在が必修の講義です。ホームの大学とウィーバーの違いを認識し、ウィーバーでの成功につなげます。同時に、様々な国の留学生とのディスカッションを通して、文化や制度の違いを学びます。（ディスカッション・約20人）		
YCU 振替予定	科目	多文化交流ゼミ Global Communication	
	単位数	2	
	担当教員	Bacala Frederic	

科目（和訳）	環境と社会		
履修期間	Spring2022	単位数	3
授業内容／形態	環境問題を社会的視点から見ます。社会と環境の相互作用を見ていくことで問題を検討してきます。また、プロジェクトとして社会構造的な視点として、ユタ議会を追いかけ、政策決定の課題を検討します。議員とのコンタクト等も行います。（レクチャー・ディスカッション・10時間の奉仕活動・約10人）		
YCU 振替予定	科目	Global Society and Issues	
	単位数	2	
	担当教員	嶋内 佐絵	

科目（和訳）	世界の環境問題		
履修期間	Spring2022	単位数	3
授業内容／形態	持続可能性の課題に対して、環境・社会・経済の相互関係を見ることで、また地域規模からグローバル規模の視点で見ること、理解を深めます。 (レクチャー・10時間の奉仕活動・約15人)		
YCU 振替予定	科目	Learning Global Cooperation in English	
	単位数	2	
	担当教員	笠井 亮平	

科目（和訳）	気候変動（科学/社会/解決策）		
履修期間	Spring2022	単位数	3
授業内容／形態	科学的視点から、気候変動やクライメットジャスティス、コミュニケーションの影響を探り、実行可能な解決策を検討します。 (レクチャー・約30人)		
YCU 振替予定	科目	特別講座（留学科目・共通教養）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目（和訳）	消費社会の生活		
履修期間	Spring2022	単位数	3
授業内容／形態	消費社会がどのように形成され社会に影響を与えているのか、どのような問題を引き起こしているのか、消費者（市民）として何ができるのかを考えていきます。消費文化が根付いた社会で、消費主義の代替案を探ります。 (オンライン)		
YCU 振替予定	科目	特別講座（留学科目・共通教養）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目（和訳）	スキー		
履修期間	Spring2022	単位数	1
授業内容／形態	ユタは、冬季オリンピックが開催されたこともあり、ウィンタースポーツが盛んです。全くの初心者でしたが、ビギナーのクラスで一から教えてもらいました。（7人）		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

【総括】

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

私が留学全体を通して感じたことは、日本と海外では価値観や生活様式が根本的に異なるということです。自分の当たり前が当たり前でないことを痛感しました。特に宗教や銃、麻薬、そして、私は環境政策を専攻しているので、環境意識の違いについて述べたいと思います。

まず、宗教に関してですが、ユタ州ではアメリカ合衆国の中でも少し特殊で、人口の大多数がモルモン教です。こちらは、キリスト教の一派ですが、茶やコーヒー、お酒が禁止であったりと厳しいルールがあります。よく、Are you a member of church?と聞かれました。モルモン教でないからと言って差別されることはありませんが、私は無宗教ですし、周りの人が熱心に神を信じていることとても新鮮でした。よく、彼らのお話を聞かせてもらいましたが、とても興味深いと思いました。自分が無宗教、でもその一方で神道は信じているということを説明するのは少し難しく、自分にとっての当たり前の文化や価値観が通じないことは、自分自身について考え直すきっかけとなりました。

そして、銃に関してですが、アメリカは一家に一台は銃を持っていることが多いです。私は、友人とガンマーケットに行った時に少しショックを受けました。銃=カッコいいと皆が目光らせていたからです。私からすれば、銃は人を傷つけたり殺すものだ怖いイメージがあります。とてもカルチャーショックでした。また、よくマリファナを吸っている人がいました。ユタ州ではイリーガルですがリーガルな州も多いです。ごく一般的に麻薬が普及していること、少し恐怖を感じましたが、カナダやヨーロッパでも大麻合法の地域は多いです。そういう点では、日本の治安の良さや安全性を痛感しました。

そして、環境意識ですが、私はアメリカ人の生活様式に大変ショックを受けました。ユタ州では、いまだにレジ袋が無料で大量消費されていますし、私の友人らは容赦なく食べ物を捨て、キッチンでは普段から紙皿を使用し、またタオルではなくキッチンペーパーを利用するなど、本当に使い捨て用品が多いです。日本の“もったいない”精神の美しさを再確認しました。そのようなことを友人たちと話すと、個人レベルでの生活の変化は意味をなさないと考えている人が多いようです。私は、日本のもったいない精神が大好きになりました。

以上述べたことは、私が痛感したカルチャーショックのごく一部です。留学を通して、本当に日本の当たり前は世界に通用しないことを感じました。それに適応する必要はありませんが、それらに慣れるには少し苦労しました。仲の良い友人の行動が、私の中でどうして?と理解できないとしてもそれが彼らにとっての当たり前なのです。私は留学生活を通して、文化の違いを理解することの大変さと重要さを学びました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

私は、留学を経て将来はグローバルに活躍したいという思いが強くなりました。外国の方と話をしたり、なじみのない場所で生活をしたりすると、今まで見ることのできなかった新たな自分を発見したり自分の可能性に気づくことが出来ます。日本では考える機会も少ない宗教や人種などといった様々なトピックに関しても考えることで、自分がどのような価値観やバイアスにとらわれているのかということに気づくこともできます。アイルランドに短期留学した時も感じたように、私は、新しい文化に触れたり全く異なる考えの人と会話をすることに対して、とてもわくわくした気持ちになります。そのような場所で、そのような人々に囲まれて仕事をできたらなんて楽しいのだろうと思います。現時点で、自分がグローバルに活躍できるスキル等を持ち合わせていないことは承知しているので、このまま英語力を落とさずに勉強を続けていきたいと思います。そして、留学を通して、挑戦する勇気さえあればなんとかなるということを実感しました。最初何かを始めるのは怖いことですが、始めてしまえば自分で何とかするしかありません。きっとそのつらさは、やりがいにつながるものだと思います。そして、挑戦しなかった後悔の方が、つらいことだと思います。ですから、どんな些細なことでも、どんな小さな機会でも、見逃すことなく新たに挑み続ける精神で何事にも取り組んでいきたいと思っています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

私が交換留学を手続きから振り返ってみると、一番重要であると感じる点は情報収集だと思います。大学生になると、どんな説明会があるのかどんな留学のイベントがあるかなど、自分で主体的に情報を取りにいかなければ、耳に入ってきません。ですから、もし留学に行きたいと思ったら、何年生で行きたいのか、どの時期までにどんな英語のスコアが必要なのか等をよく考えながら、長期的なプランをたてていく必要があります。私は、新型コロナウイルスの蔓延によって、延期を余儀なくされたため、計画が崩れてしまいましたが、そこは臨機応変に対応してきました。それでも、交換留学の申請や入学手続き等は、自分自身でやらなければいけない作業なので、ホームページ等で情報を確認したり、グローバル推進室を訪れて職員の方に相談するなどしていくとよいと思います。渡航中でも、自分の主体的に情報を集めに行くことが大事になってきます。現地に着いたら、知らない場所に一人ぼっちで、最初は誰も助けてはくれません。ですから、日本にいる頃から、調べられることは調べておく、そして現地についたら、様々なオフィスを訪ねて質問したりすることが大事になってくると思います。皆さん、優しく教えてくれたので、怖がらずにどんどんいろんな人に聞いてみてください。

もし、ほんの少しでも留学に行きたいという気持ちがあるのなら、その気持ちを大切にしたいと心から思います。私は、留学に行けたこの一年が、人生で一番楽しく一番充実した年でした。渡航する前は、もちろん様々な不安で押しつぶされていましたが、行ってしまえば自分でどうにかするのでどうにか出来ます。そして、そのどうにかする力は、留学を希望する皆さんにとって大きな経験値になると思います。皆さんのことを、応援しています。